

技能評価システム移転促進事業（SESPP）

事業実施報告書【カンボジア】

- ◆2018年11月12日（月）～16日（金）
- ◆カンボジア・プノンペン市 Industrial Training Institute (ITI)
- ◆配電盤・制御盤3級 職業訓練技法（VTM）

2018年11月

1. 事業の全体概要

- (実施期間) 2018年11月12日(月)～16日(金)
 (実施場所) カンボジア王国・プノンペン市
 Industrial Training Institute (ITI)
 (職種) 配電盤・制御盤3級 職業訓練技法 (VTM)
 (講師) 萩生田 幸男氏 (東芝インフラ機器テクノロジー株式会社)
 (参加者数) 受講者12名

(実施日程)

日時	活動名 (指導内容)
11月12日(月) 08:30～16:00	開講式 【職業訓練技法】 ① 課題ポイント習得 (基本作業の重要性、品質確保) ② 準備作業研修 (パネル点検、器材・材料点検、工具点検) ③ 穴開け作業研修 (ケガキ作業、穴開け加工作業)
11月13日(火) 08:30～16:00	【職業訓練技法】 ① 器具取付け作業研修
11月14日(水) 08:30～16:00	【職業訓練技法】 ① 配線準備作業研修 (器具接点構成、接続順番方法) ② 圧着・差込み作業研修 ③ 制御回路配線研修 (電線測長、配線先表示方法、配線方法、束線作業方法)
11月15日(木) 08:30～16:00	【職業訓練技法】 ① 制御回路配線研修 (電線測長、配線先表示方法、配線方法、束線作業方法) ② 主回路配線研修 (端子台パターン、電線測長、配線先表示方法、配線方法、束線作業方法) ③ 点検作業研修 (配線チェック、設定方法、清掃方法)
11月16日(金) 08:30～16:00	【職業訓練技法】 ① 採点基準による品質確保研修 ② 作業スピードアップ研修 ③ 訓練技法研修意見交換会 (1時間) 閉講式

2. 講評

◆ 総評

配電盤・制御盤組み立て作業において2018年11月12日より16日まで、職業訓練技法研修(VTM)を初めてカンボジアで開催いたしました。過去2年は、SEM(*1)・SAT(*2)・SET(*3)を繰り返し、技能検定3級課題の準備・運営・実施・採点評価等については、アセッサー育成も出来てきました。しかし、肝心な実技課題作成において技能レベルが上がらない事から、今回ASEANでは初めてカンボジアでVTMを開催いたしました。基本作業と応用作業、また作業のコツについても実演しながら研修をする事ができ、短い時間でしたが理解は深められたと思います。次回1月のSET及びASEANでは初めてのSAC(*4)を期待しています。

(*1) SEM：技能評価技法 (*2) SAT：技能評価者講習

(*3) SET：技能評価トライアル (*4)SAC：技能評価者認定

3. 受講者へのアンケート結果

◆ 受講者12名（回答者12名）

満足度	：大変満足=8名 満足=4名	満足度	100%
役立ち度	：大変役立つ=9名 役立つ=2名 どちらともいえない=1名	役立ち度	92%
継続性	：是非継続すべき=10名 継続すべき=2名	継続希望度	100%

【意見・感想】

- ・この研修は自分の技能向上及びカンボジア産業の発展に非常に役に立つと思う。
- ・標準評価者の育成のため、1級レベルまで更なる支援を続けてほしい。
- ・日本に、更なるトレーニングの実施、更なる技術とツールのサポートをお願いしたい。
- ・評価者育成の為、配電盤・制御盤の1級・2級レベルのためのトレーニングコースを希望します。
- ・トレーニングコースの期間の延長とトレーニング機材のサポートを希望します。
- ・技能評価者講習と技能評価トライアルをもっと実施してほしい。
- ・自分の学校にも盤を設置してほしい。
- ・カンボジア産業界のベーシックなニーズとして、技能評価者の成長のためにも、更に2級・3級レベルの訓練技法研修を実施してほしい。
- ・カンボジアにはまだ評価者がいないので、様々な職種において訓練技法研修を行なってほしい。
- ・今回の職業技法研修を続けてほしい。オートメーションについての技能検定トレーニングを実施してほしい。
- ・配電盤・制御盤の1級・2級レベルへのアップグレード及び、電子工学、メカトロニクスの訓練技法研修を実施してほしい。

以上